

テクノフェア2005を開催しました

技術開発本部では、10月19日(水)~20日(木)の2日間テクノフェア2005を開催いたしました。

今回は“夢に「いぶき」を”をテーマに、特設テーマパビリオンにおける集中展示や14カ所の実験棟での研究技術の紹介、さらに関係会社15社の技術紹介を企画いたしました。

両日とも天候に恵まれ、地域各界のオピニオンリーダーや各企業・研究団体のみなさまに、合計で2,645人の来場をいただき、感謝しております。

当社技術力の理解促進、大学関係者等各種専門分野の有識者との交流を通じた産学連携の強化、大口のお客さ

まをはじめとする企業のみなさまへの技術紹介・活用促進にたいへん成果があったものと考えております。

来場されたお客さまからは次世代技術に大変興味を持ち観ることができて勉強になった。

体験型展示で理解度が向上した。

研究者の説明が丁寧でわかりやすかった。

などの評価をいただきました。

今後もより良いフェアとしていくつもりですので、次回開催時には、多数のみなさまのご来場をお待ちしております。



川口社長への説明風景



超電導線材のプレス発表



テーマパビリオン内の様子

第7回全社工務関係業務研究発表会

第7回を迎えた今年は9月14日、中電労組会館において200名を超える聴講者が聞き入るなか、20件の研究や改善の成果が発表されました。この発表会は設備を保守・運用する第一線の事業場で行われている研究や改善の成果を全社に発表する場として電力流通設備に係る4部門(電子通信部・系統運用部・工務部・土木建築部)合同で、平成11年から開催されています。

今年は、環境特性・経済性に優れた新たな補修工法、劣化診断手法の考案による設備の延命化策、設備・系統信頼度向上策など、いずれも電力の安定供給やベースコストの削減を目指した研究成果が披露され、活気に満ちた発表会となりました。

審査の結果、最優秀賞ならびに5件の優秀賞が以下のとおり選ばれ、審査委員長の内藤系統運用部長より表彰状が授与されました。



最優秀賞を受賞した久保田さん(上)と熱心に聞き入る聴講者

受賞件名

	件名	所属	発表者
最優秀賞	中御所(発)北御所えん堤の簡易遠隔取水の開発	飯田電力センター 土木課	久保田 健二
優秀賞	ITC取込試験方法の検討	名古屋系統運用センター 制御システム課	本田 美樹
	三重支店西館無線鉄塔における最適な塗装工法の検討	津電力センター 電子通信課	室 孝典
	石炭灰を用いた鉄塔敷地舗装の改良	岡崎電力センター 送電課	杉本 陵
	導水路漏水箇所修繕における「おが屑工法」採用について	塩尻電力センター 土木課	井口 剛
	架線金具補修工具の開発について	名古屋支店 技術部 送電課	杉 俊之